



# SOLIDCOM M1

## 取扱説明書

V1.0.0-J2

日本正規代理店・日本語取扱説明書製作

(株) スタジオ イクイプメント

〒154-0002 東京都世田谷区下馬 5-2-10

TEL: 03-3795-3111 FAX: 03-3795-3353

<https://www.studioequipment.co.jp/>

はじめに .....	1
SOLIDCOM M1の主な機能.....	1
梱包内容 .....	2
インターフェース.....	4
3.5 mmヘッドセット端子 .....	4
LEMOヘッドセット端子 .....	4
4Wire接続端子（RJ45コネクタ） .....	5
2Wire接続端子（3ピンXLR-F） .....	5
PoE電源供給端子（RJ45コネクタ） .....	5
A ベースステーション .....	7
B ベルトパック .....	9
ディスプレイ解説.....	10
A ベースステーションのディスプレイ .....	10
B ベルトパックのディスプレイ.....	11
システムのセットアップ.....	12
ベースステーションのセットアップ .....	12
ベルトパックのセットアップ.....	14
再ペアリング .....	14
2セットの機器をカスケード接続する .....	15
ガイド .....	16
ベースステーション メニュー案内.....	17
ベルトパックメニュー.....	19
DHCP設定.....	20
ネットワーク .....	21
スマートフォンアプリ使用による、Wi-Fi経由でのベースステーションの設定 .....	23
ベルトパックのネーム変更 .....	24
ベルトパック ワーキングモード .....	25
仕様.....	30
安全上の注意 .....	30
サポート .....	31

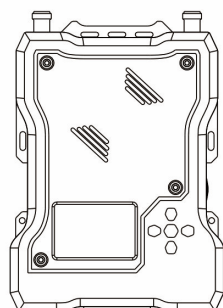
HOLLYLAND（ホリランド）フルデュプレックス ワイヤレスインターカムシステムを購入頂きありがとうございます。

使用する前にこの取扱説明書を注意深くお読み下さい。快適な体験となることを願っています。

### ■ SOLIDCOM M1の主な機能

- キャリアグレードの音声品質、ベースステーションから見通し直線距離で最大400 m離れた使用が可能
- 1.9 GHz帯の周波数を使用、複数の国や行政区域での周波数設定をサポート。もちろん日本の無線機器認証取得済み
- 指向性のパネルアンテナを内蔵。付属のグラスファイバー製アンテナを取り付けることで無指向性に切替可能
- フルデュプレックス（同時双方向）通信が可能
- 最大8台のベルトパックとの同時通話が可能
- ベルトパックは3グループの同時通話に対応
- ベースステーションは2/4Wire インターカムシステムとの相互接続に対応
- ベースステーションの電源は、PoE 電源またはNP-F型バッテリーから供給
- ベルトパックのリチウムポリマーバッテリーは6時間以上使用可能
- 持ち運びに便利な、付属キャリングケース内のチャージングスペース
- 10段階のボリューム設定
- ベースステーション、アプリ、ウェブサーバー構成のソフトウェアアップデートに対応

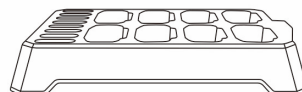
## 梱包内容



①



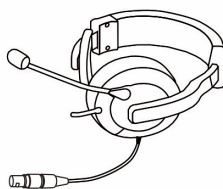
②



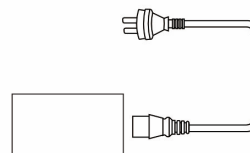
③



④



⑤



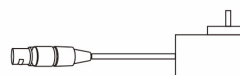
⑥



⑦



⑧



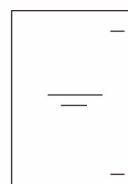
⑨



⑩



⑪

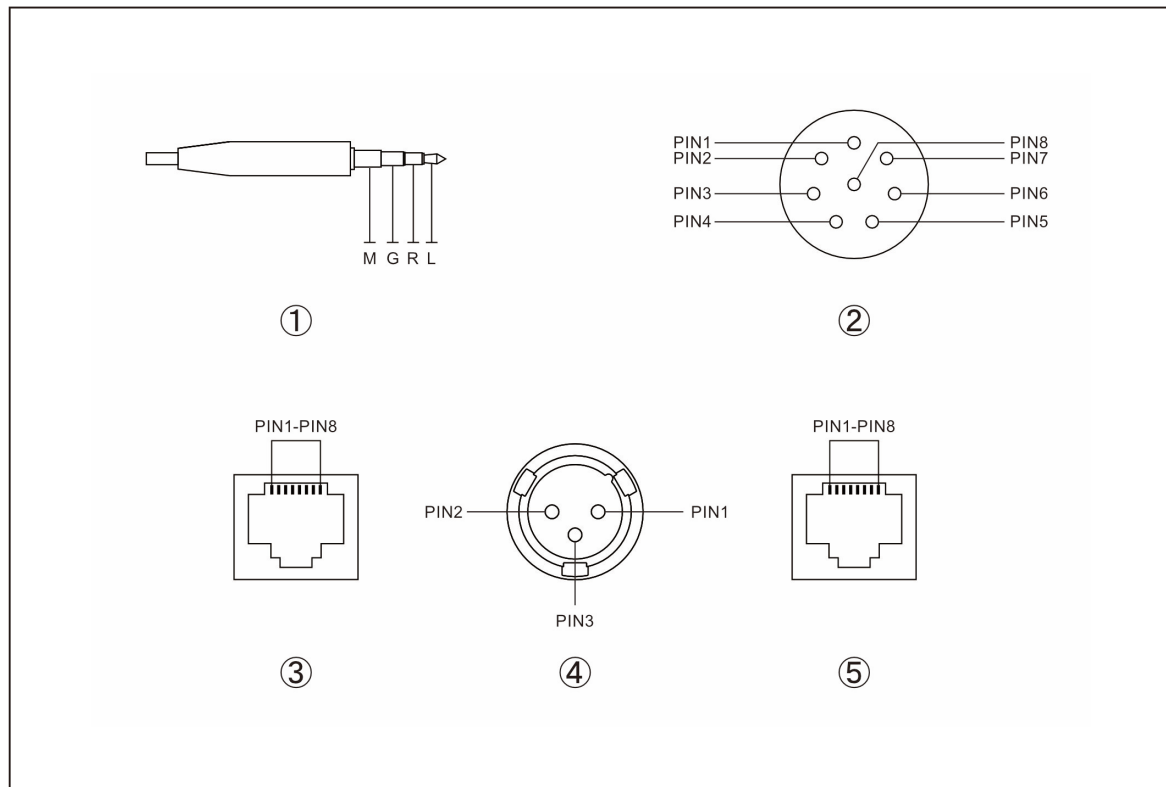


⑫

## 梱包内容

① ベースステーション	x 1
② ベルトパック	x 8
③ チャージャー	x 1
④ ハイゲイン無指向性グラスファイバーアンテナ	x 2
⑤ LEMO コネクター 片耳ヘッドセット	x 8
⑥ PoE アダプター	x 1
⑦ RJ45 - XLR変換ケーブル (5m)	x 1
⑧ USB Type-Aから Type-Cへの変換ケーブル	x 1
⑨ 4ピンXLRアダプター	x 1
⑩ ベルトパック用バッテリー	x 16
⑪ 3/8 インチ マイクスタンド取り付け用アダプター	x 1
⑫ ユーザーガイド	x 1

\* 正確な数量は、製品の構成によって異なる場合があります。表示数量は、標準的なものとしてお考えください。



## ① 3.5 mm ヘッドセット端子

接続回路：M (Mic) G (Ground) R (SP R) L (SP L)

マイクインピーダンス：600  $\Omega$

スピーカーインピーダンス：32  $\Omega$

## ② LEMO ヘッドセット端子

ピン 1：GND

ピン 2：GND

ピン 3：SPK -

ピン 4：SPK +

ピン 5：MIC +

ピン 6：MIC -

ピン 7：NULL

ピン 8：LED

### ③ 4Wire接続端子（RJ45 コネクター）

入カインピーダンス：10K $\Omega$

ピン3がAudio Inの時（現在のデフォルト設定）

ピン1：NULL

ピン2：NULL

ピン3：4Wire In +

ピン4：4Wire Out +

ピン5：4Wire Out -

ピン6：4Wire In -

ピン7：GND

ピン8：GND

\* Clear-Com HMEの4Wire端子とストレートケーブルで接続可能

ピン3がAudio Outの時

ピン1：NULL

ピン2：NULL

ピン3：4Wire Out +

ピン4：4Wire In +

ピン5：4Wire In -

ピン6：4Wire Out -

ピン7：GND

ピン8：GND

\* Clear-Com HMEの4Wire端子と同じピン接続

### ④ 2Wire接続端子（3ピンXLR-F）

ピン1：GND

ピン2：電源

ピン3：2Wire Line

### ⑤ PoE 電源供給端子（RJ45 コネクター）

ピン1：- POWER

ピン2：- POWER

ピン3：+ POWER

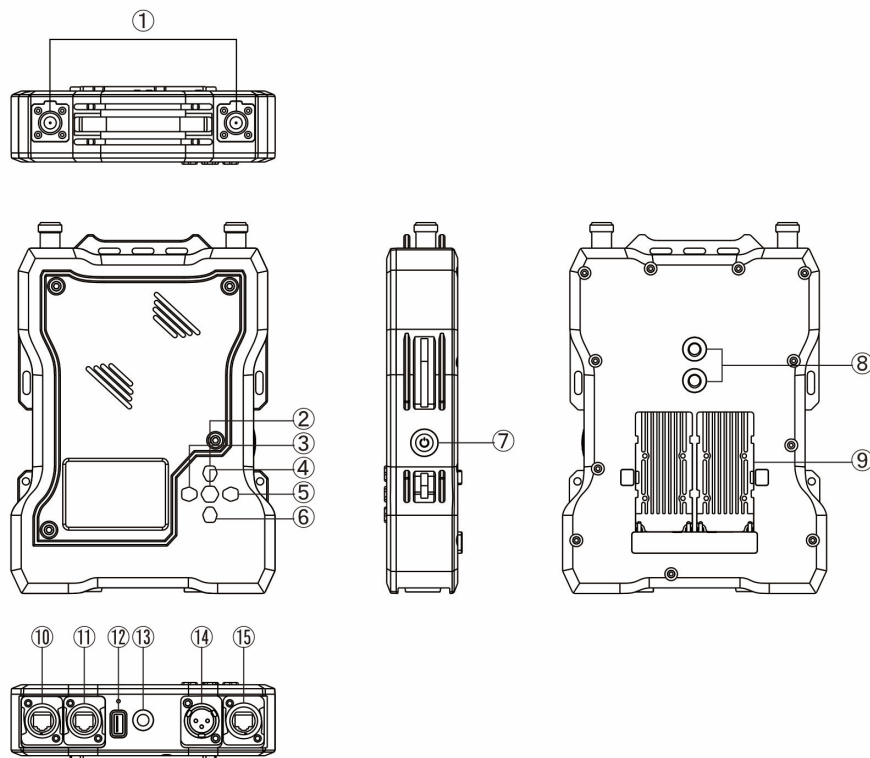
ピン4：+ POWER

ピン5：+ POWER

ピン6：+ POWER

ピン7：- POWER

ピン8：- POWER

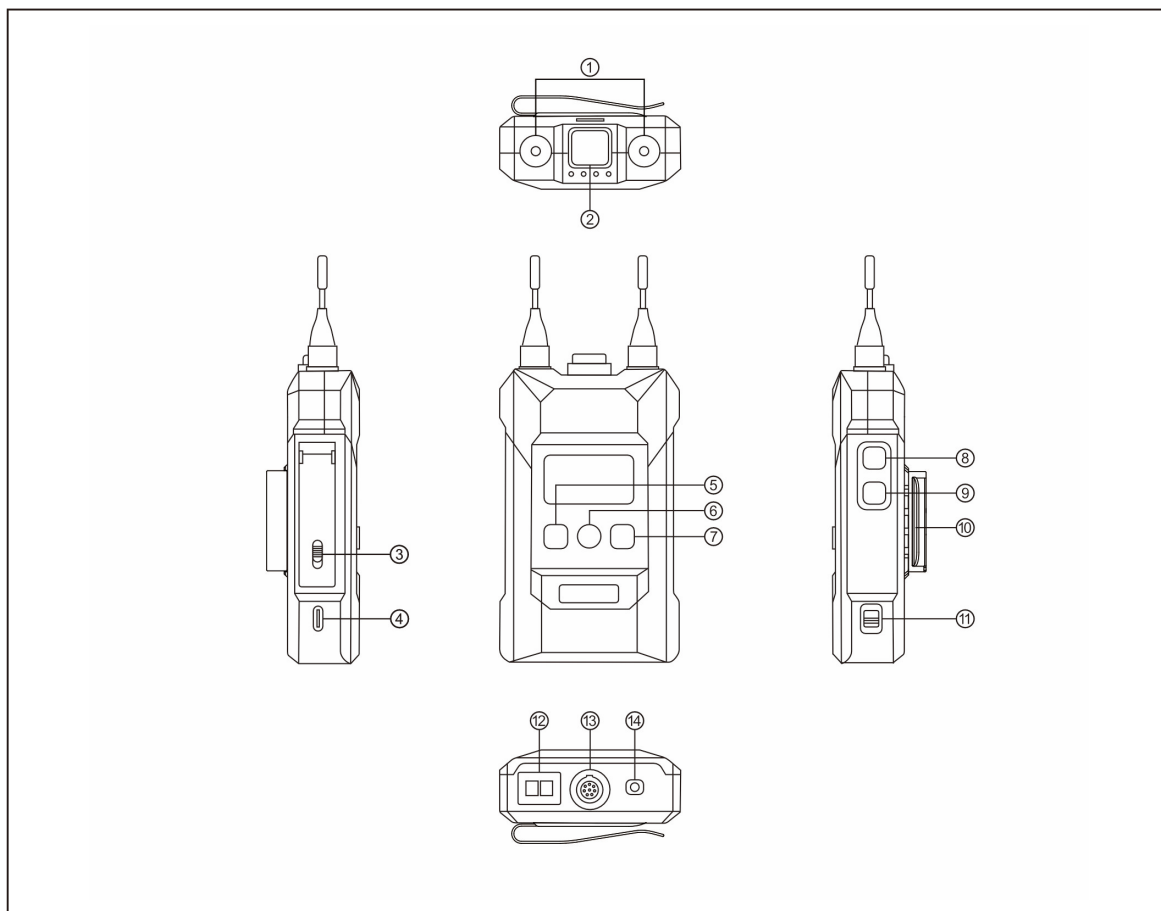


A



### ■ A ベースステーション

- ① アンテナ コネクター
- ② 上キー
- ③ 左キー
- ④ メニュー/選択キー（長押しでメニュー、短押しで選択）
- ⑤ 右キー
- ⑥ 下キー
- ⑦ 電源ボタン
- ⑧ 3/8インチ ネジ穴
- ⑨ NP-F型バッテリー用接点
- ⑩ 電源コネクター（RJ45 コネクター）
- ⑪ 4Wireオーディオ入出力端子（RJ45 コネクター）
- ⑫ USB Type-Aコネクター
- ⑬ 3/8インチ ネジ穴
- ⑭ 2Wireオーディオ入出力インターフェース（キャノンコネクター 3ピン メス座）
- ⑮ PoEインターフェース（RJ45 コネクター）



### ■ B ベルトパック

- ① アンテナ
- ② ミュート/トークスイッチキー  
押した状態でトーク、戻した状態でミュート（受信のみ）
- ③ バッテリー収納カバー リリースボタン
- ④ USB Type-C コネクタ
- ⑤ 左キー/Aグループキー

**インジケータースタイルランプが消灯しているとき：**ベルトパックはグループ化されていません

**グループ インジケータースタイルランプが白色のとき：**ベルトパックはグループAに参加していますが、トークやリスンはできません

**インジケータースタイルランプがオレンジ色のとき：**ベルトパックはグループAに参加しており、トークやリスンが可能です

- ⑥ 選択キー/Bグループキー

**インジケータースタイルランプが消灯しているとき：**ベルトパックはグループ化されていません

**グループ インジケータースタイルランプが白色のとき：**ベルトパックはグループBに参加していますが、トークやリスンはできません

**インジケータースタイルランプがオレンジ色のとき：**ベルトパックはグループBに参加しており、トークやリスンが可能です

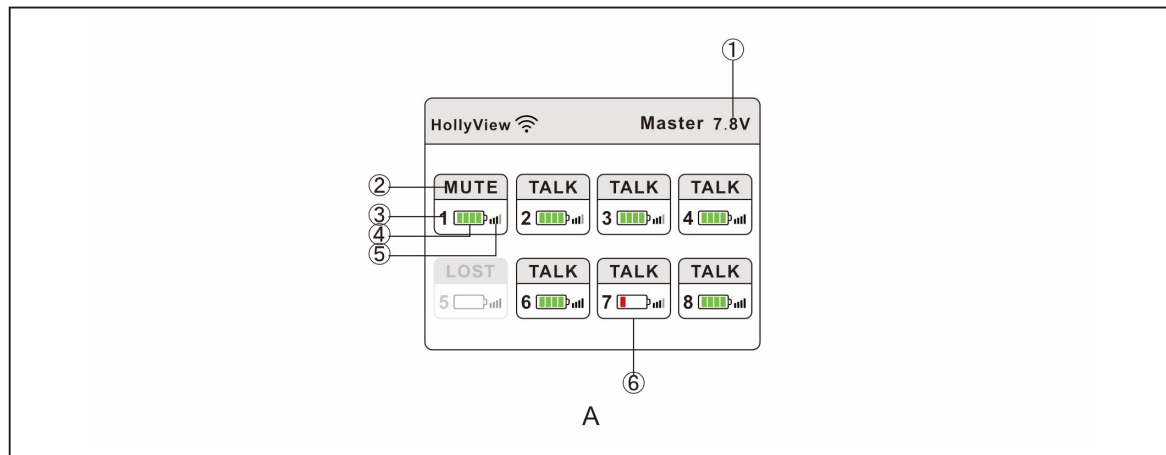
- ⑦ 右キー/Cグループキー

**インジケータースタイルランプが消灯しているとき：**ベルトパックはグループ化されていません

**グループ インジケータースタイルランプが白色のとき：**ベルトパックはグループCに参加していますが、トークやリスンはできません

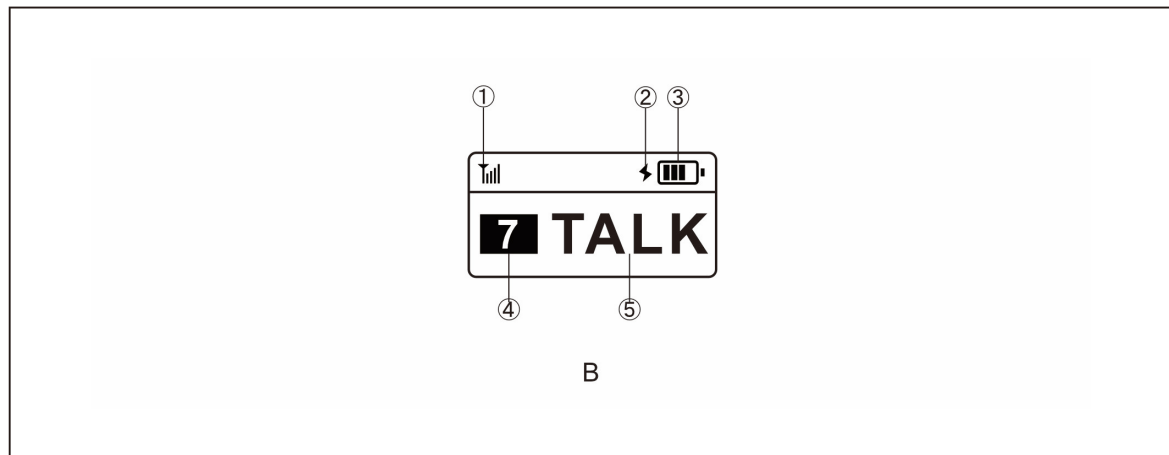
**インジケータースタイルランプがオレンジ色のとき：**ベルトパックはグループCに参加しており、トークやリスンが可能です

- ⑧ ボリューム + ボタン
- ⑨ ボリューム - ボタン
- ⑩ ベルトクリップ
- ⑪ 電源スイッチ
- ⑫ 充電用接点
- ⑬ LEMOヘッドセット コネクタ
- ⑭ 3.5 mmヘッドセットジャック



## ■ A ベースステーションのディスプレイ

- ① ベースステーションの現在のバッテリー電圧
- ② ベルトパックの状態
  - TALK**： ベルトパックはリスンとトークが可能です
  - MUTE**： ベルトパックはリスンはできますが、トークはできません
  - LOST**： ベルトパックがベースステーションから切断されています
  - LINK**： ベルトパックはベースステーションにリンクしています
- ③ ベルトパック番号
- ④ ベルトパックの現在のバッテリー残量
- ⑤ ベルトパックの現在の信号強度
- ⑥ ベルトパックのバッテリー低下表示



### ■ B ベルトパックのディスプレイ

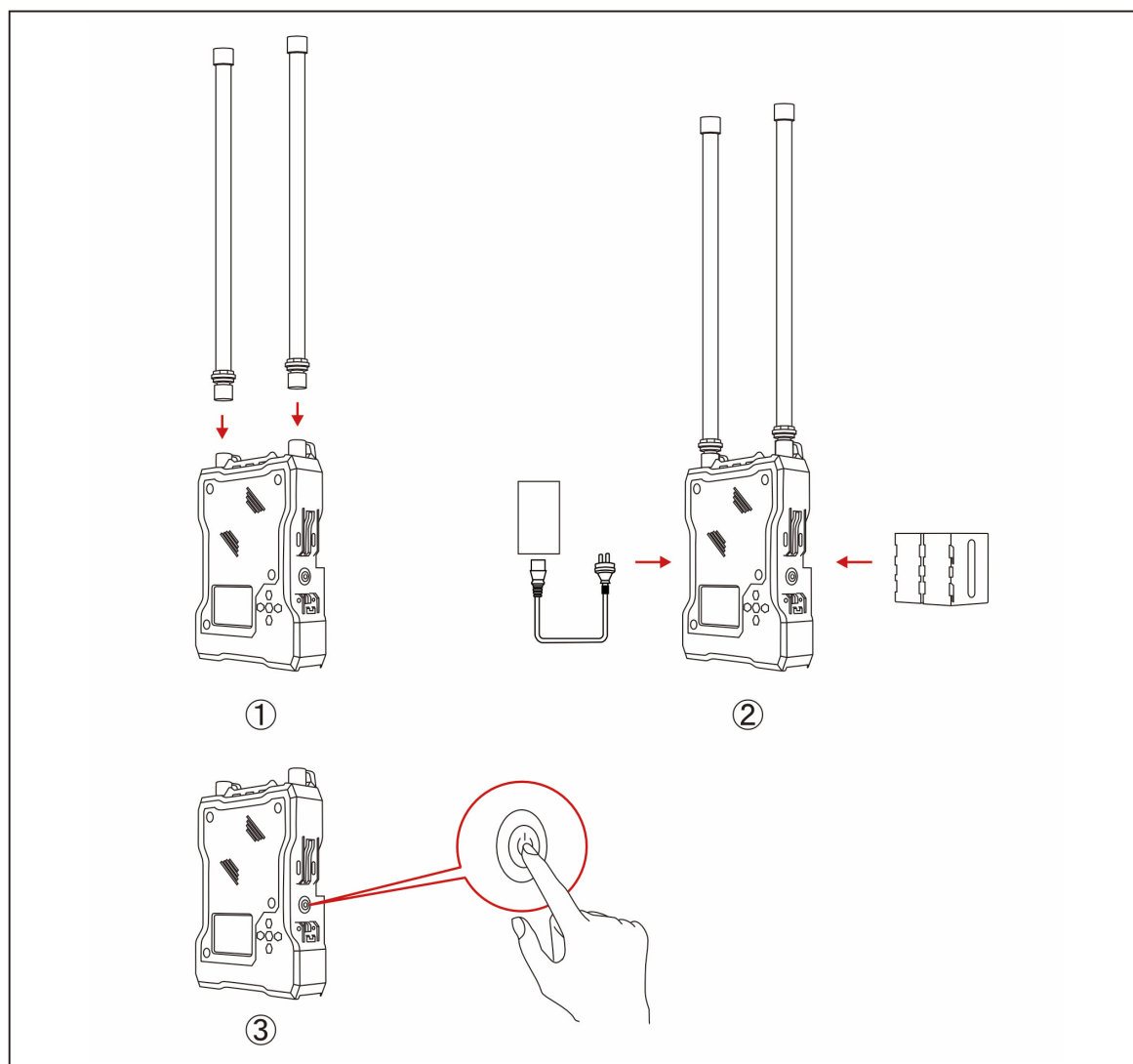
- ① 信号強度
- ② 充電中表示
- ③ バッテリー残量
- ④ ベルトパック番号
- ⑤ ベルトパックの状態

**TALK：** リッスンとトークが可能です

**MUTE：** リッスンはできますが、トークはできません

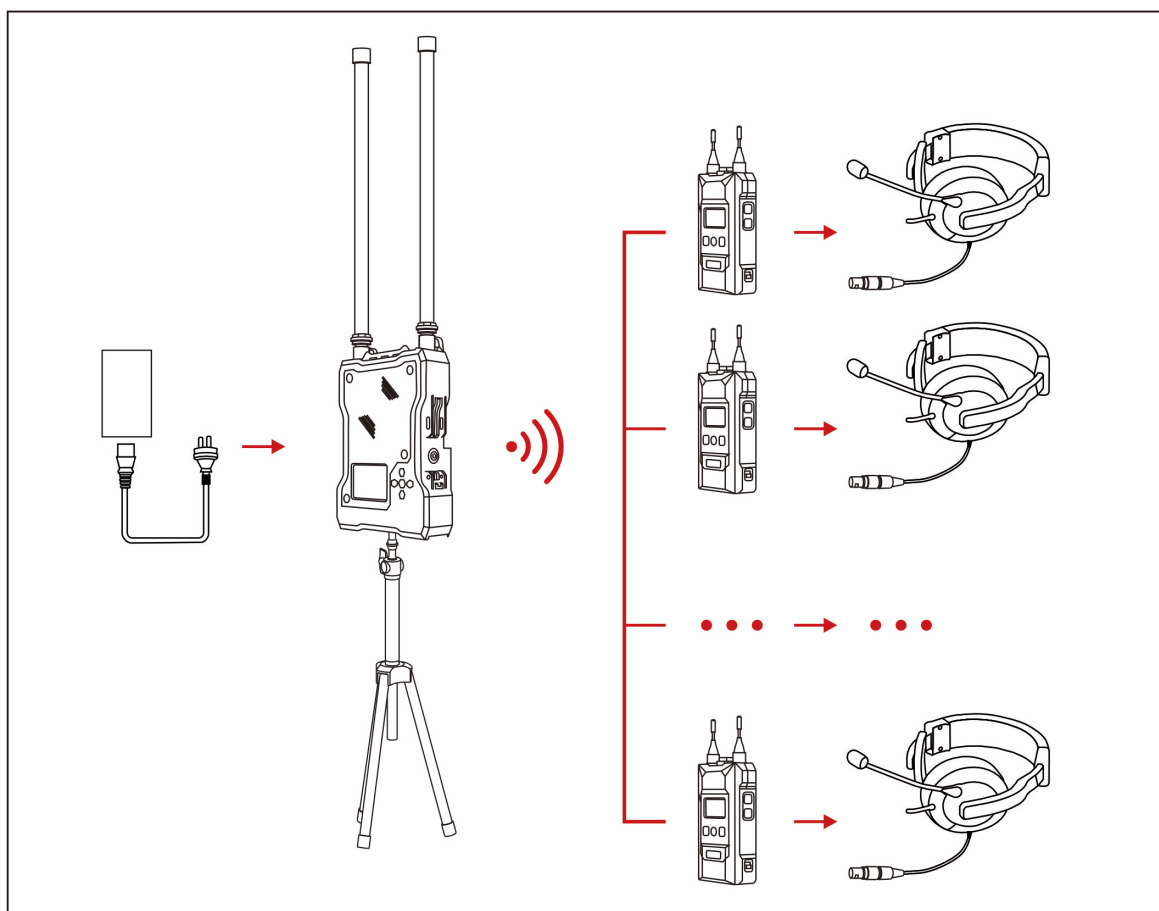
**LOST：** ベースステーションとのリンクが外れた状態です

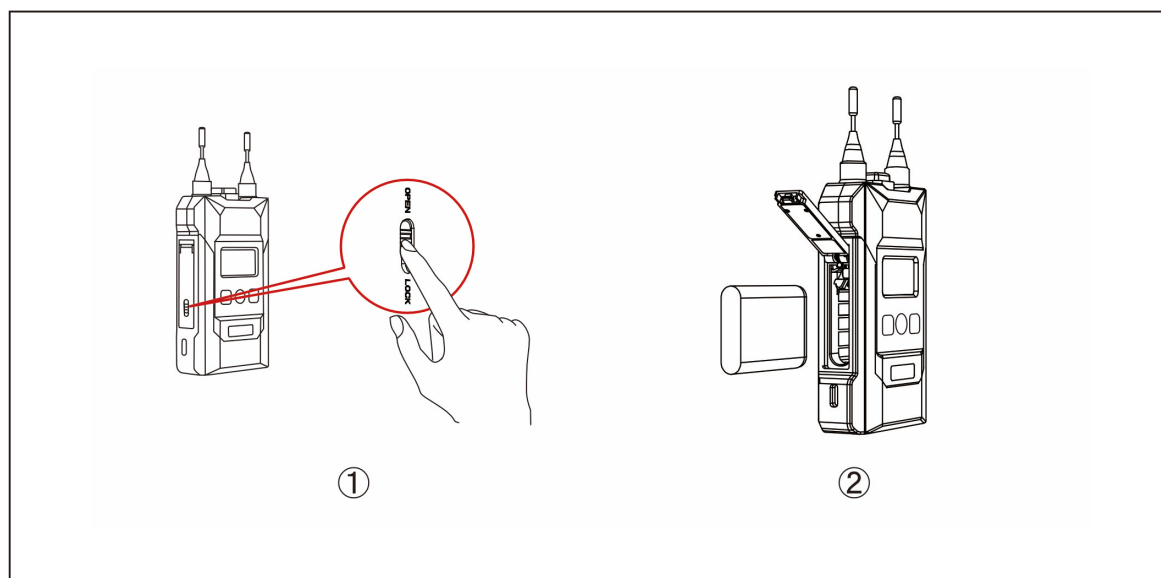
**LINK：** ベースステーションにリンクしています



### 1. ベースステーションのセットアップ

- ① 上図のように付属のグラスファイバーアンテナを取り付けます（無指向性にしたい場合）。ベースステーション内蔵のパネルアンテナを利用してベースステーション正面方向への指向性を希望する場合は、グラスファイバーアンテナを取り付けしないで下さい。
- ② 電源アダプターを接続するか、Sony NP-F型のバッテリーを装着します。
- ③ 電源ボタンを押して、電源を入れます。





### 2. ベルトパックのセットアップ

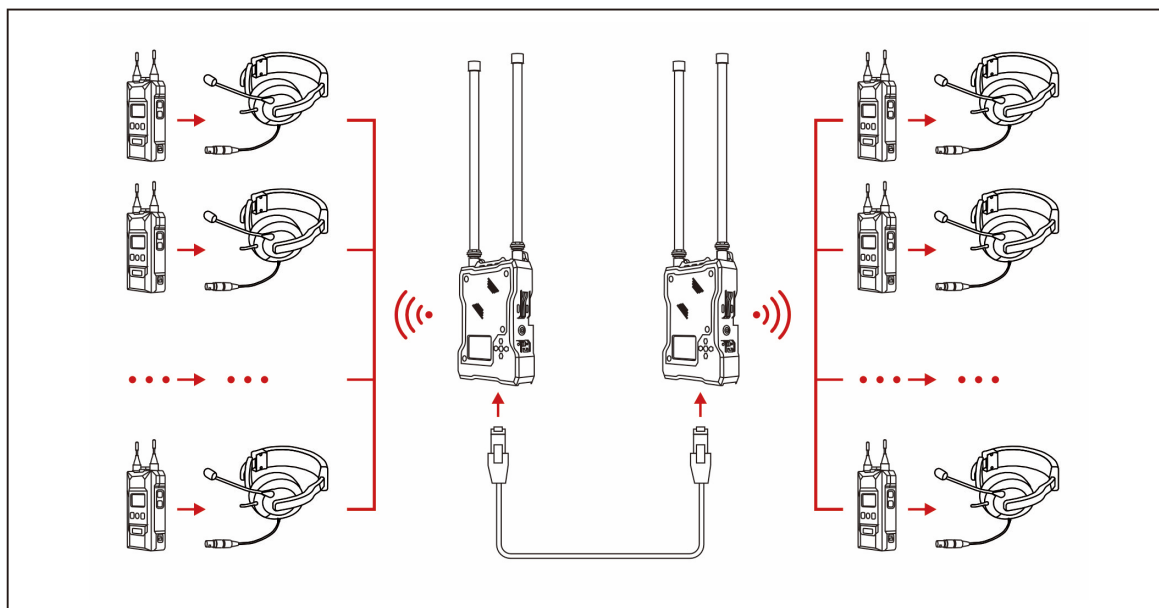
1. バッテリー収納カバーを開けて、バッテリーに記載されている方向にバッテリーを入れます。
2. 電源スイッチをONにして、電源を入れます。
3. ベルトパックの状態が「LOST」から「LINK」に変われば、ベースステーションと接続状態になっています。  
表示が「MUTE」の場合はトークスイッチキーを押すと表示が「TALK」になり送話することができます。再度トークスイッチキーを押すと「TALK」が解除され、表示は「MUTE」に戻ります。MUTE状態ではマイクがMUTEされていて送話することはできませんが、会話を聴くことはできます。
4. ベルトパックは、3.5 mm 4極プラグのスマートフォン用ヘッドセットとLEMOコネクターのヘッドセットの双方の接続に対応しています。
5. 4Wireまたは2Wireのオーディオインターフェイスを使用して他のインカムシステムに接続する場合、ユーザーはインカムシステムの全体のゲインをバランスさせるために、ベースステーションのメニューで入力および出力のゲイン（利得）を調整することができます。
6. 一定期間放置されたバッテリーは休止状態になっています。完全な充電放電を3回ほど繰り返すことをお勧めします。

### 3. 再ペアリング

誤った操作などにより、ベルトパックのペアリングが外れて、番号が消えてしまうことがあります。

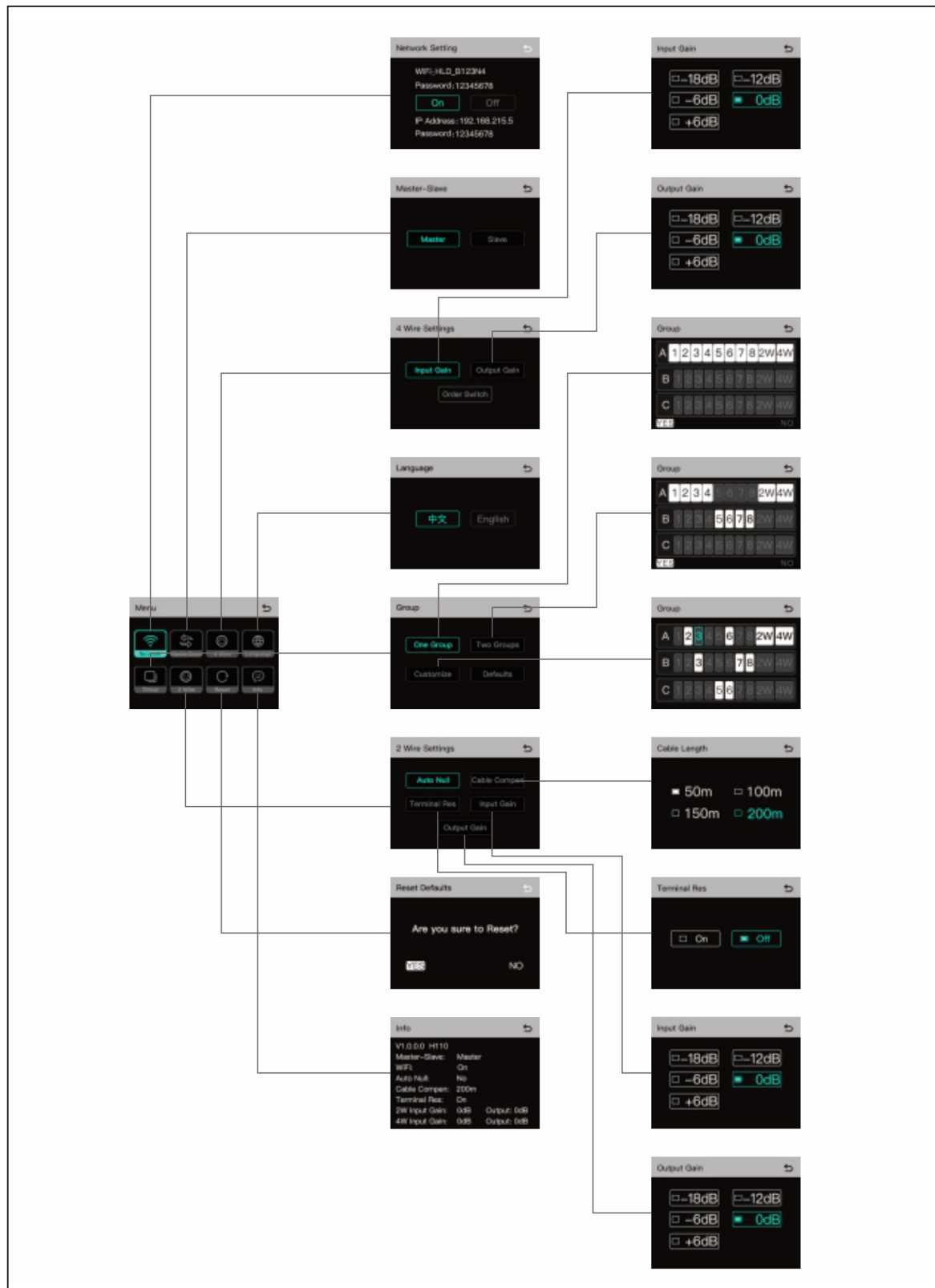
ベルトパックをベースステーションに再接続するには、ベースステーションとベルトパックをUSB Type-AからType-Cの変換ケーブルで接続します。ベルトパックの「Pair」メニューに入り、ペアリングする任意の番号を選択します。ベースステーションとベルトパックの両方のディスプレイに「Pairing...」と表示され、「Pairing Successful」と表示されたら、ベルトパックをベースステーションから取り外します。





#### 4. 2セットの機器をカスケード接続する

1. 付属の専用LANケーブルを使って、2台のベースステーションをカスケード接続し、ベルトパックの台数を増やすことができます。ベルトパックは最大16台まで増設することができます。カスケード接続時には片方のベースステーションをスレーブデバイスに設定する必要があります。  
ベースステーションをスレーブデバイスに設定して単独で使用すると、ベルトパックと通話できなくなります。その場合、リセットしてマスターデバイスとして登録し直してください。
2. カスケード接続する場合、スレーブデバイスのベルトパック番号は自動的に9～16に変更されます。
3. マスターデバイスがPoEアダプターを使用して電源の供給を受ける場合、PoEアダプターはマスターデバイスのRJ45電源コネクタに接続する必要があります。  
カスケード接続する場合は、マスターデバイスのPoEインターフェースとスレーブデバイスのRJ45電源コネクタをLANケーブルで接続する必要があります。  
スレーブデバイスのRJ45電源コネクタは、バッテリーを使用せずにスレーブマシンに電源供給することが可能です。Sony NP-F型のバッテリーは、PoEアダプターを使用しないで電源を供給する場合に利用できます。



### ■ ベースステーション メニュー案内

メニュー/選択キーを3秒間長押しすると、メニュー モードに入ります。

メニュー機能の解説（上段左から）は以下の通りです。

1. 「Network」を選択すると、Wi-Fiのオン/オフ、Wi-FiパスワードとIPアドレスの確認ができます。
2. 「Master and Slave」を選択すると、ベースステーションをマスターデバイスまたはスレーブデバイスとして設定します。
  - 2-1 ベースステーションが1台のみの場合は、ベースステーションをマスターデバイスとして設定する必要があります。  
2台のベースステーションをカスケード接続する場合は、ベースステーションをマスターまたはスレーブデバイスとして設定することができます。
  - 2-2 ベースステーションをマスターデバイスに設定すると、ベルトパック番号は自動的に1～8に切り替わります。
  - 2-3 この機能は、2台のベースステーションをLANケーブルでカスケード接続した場合にのみ使用できます。ベースステーションが1台のみの場合は、ベースステーションをマスターデバイスとして設定する必要があります。
3. 「4Wire」を選択すると、4Wireインターカムとの設定に入ります。
  - 3-1 4Wireインターカムの入力/出力ゲインを調整するメニューに入ります。
  - 3-2 RJ45 4Wire接続端子のピン3をAudio Inに割り当てるか、Audio Outに割り当てるかを選択します。  
Audio In+に割り当てた場合、Clear-Com HMEの4Wire端子とストレートケーブルで接続することが可能です。Audio Out+に割り当てた場合、Clear-Com HMEの4Wire端子と同等のピン接続となります。
4. 「Language」を選択し、言語を中国語または英語に切り替えます。
5. 「Group」を選択して、グループ設定に入ります。
  - 5-1 1グループ設定  
すべてのベルトパック、2Wire、4Wire機器をグループAにまとめます。ベルトパックのAグループキーのインジケータランプがオレンジ色に点灯します。
  - 5-2 2グループ設定  
1～4番のベルトパック、2Wire、4Wire機器をグループAに、5～8番のベルトパックをグループBにグループ分けします。ベルトパックの対応するグループキーのインジケータランプがオレンジ色に点灯します。
  - 5-3 カスタマイズ  
方向キーと選択キーを使って、ベルトパック、2Wire、4Wire機器を自由にグループ化することができます。設定後、ベルトパックの対応するグループキーのインジケータランプがオレンジ色に点灯します。
  - 5-4 デフォルト  
すべてのベルトパック、2Wire、4Wire機器をグループAにまとめます。

### 6. 「2Wire」を選択すると、2Wireインターカムとの設定に入ります。

2Wire 機器を接続した後、対応するベースステーションのケーブル長補正とターミネーションを設定します。

#### 6-1 2Wire機器の電源を入れます。

2Wire 機器のマイクをオフにして、2Wire 回線上に他の音声を送信されていないことを確認してください。そうしないと Auto Null に影響が出ます。

「Auto Null」を選択し、接続されている 2Wire 回線のオートヌル調整を完了します。

#### 6-2 「Cable Compen」を選択し、ベースステーションに直接接続している 2Wire 回線のケーブル長を確認します。ケーブル長に応じて対応する補償を選択します。

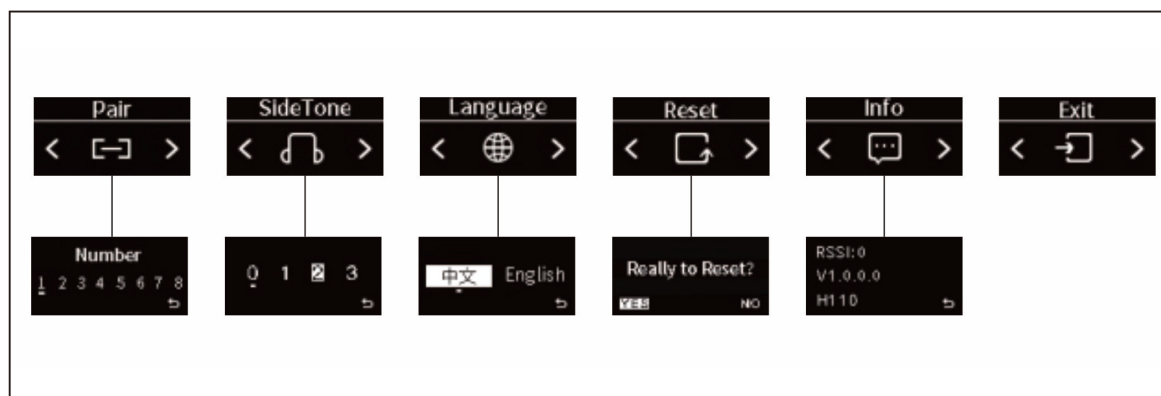
#### 6-3 「Terminal Res」を選択し、2Wire 回線が 2Wire のマスターステーションなどでターミネーションされている場合は、Terminal Res.（ターミネーション抵抗）を Off にします。2Wire 機器側でターミネーションをかけていない場合は On のままにしておきます。

#### 6-4 「Input Gain」を選択して入力ゲイン（利得）調整メニューに入り、対応する利得レベルを選択して入力信号を適正な値に調整します。

#### 6-5 「Output Gain」を選択して出力ゲイン（利得）の調整メニューに入り、対応する利得レベルを選択して出力信号を適正な値に調整します。

### 7. 「Reset」を選択すると、ベースステーションで設定されたすべての設定情報がデフォルトに戻ります。

### 8. 「Info」を選択すると、ベースステーションの情報を確認できます。



## ■ ベルトパックメニュー

ボリューム + ボタンとボリューム - ボタンを3秒間長押しするとメニューが表示され、上図のように各機能が表示されます。

1. ベルトパックとベースステーションをUSB Type-AからType-Cへの変換ケーブルで接続します。

「Pair」を選択すると、ベルトパックとベースステーションがペアリングされます。

使用可能な番号を1～8の中から選択してペアリングを確認すると、ベースステーションとベルトパックの両方のディスプレイに「Pairing...」と表示されます。

ディスプレイに「Pairing Successful」と表示されたら、ベルトパックをベースステーションから取り外します。

2. 「Side Tone」を選択し、サイドトーンの出力音量を設定します。

サイドトーン（側音）とは自分の声の跳ね返りの音です。サイドトーンが全くないとベルトパックが送信しているのか判断できません。サイドトーンがあるとベルトパックが送信状態に入っていることが確認できます。サイドトーンが大きすぎると通信相手の声が聴き取りにくくなります。

レベル0ではサイドトーンはオフ、レベル1～3でサイドトーンは徐々に増加します。

3. 「Language」を選択すると、言語を中国語または英語に切り替えることができます。

4. 「Reset」を選択すると、ベルトパックで調整した設定を全てデフォルトに戻します。

5. 「Info」を選択すると、ベルトパックの情報を確認できます。

6. 「Exit」を選択するとメインメニューに戻ります。

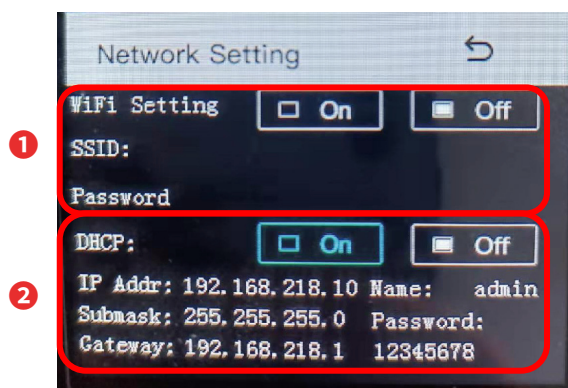
7. 「Mode」を選択すると、ベルトパックのマイクゲインを変更できます。

8. 「Denoise」を選択すると、2Wire入力にかかっているノイズゲートのON/OFFを切り替えることができます。

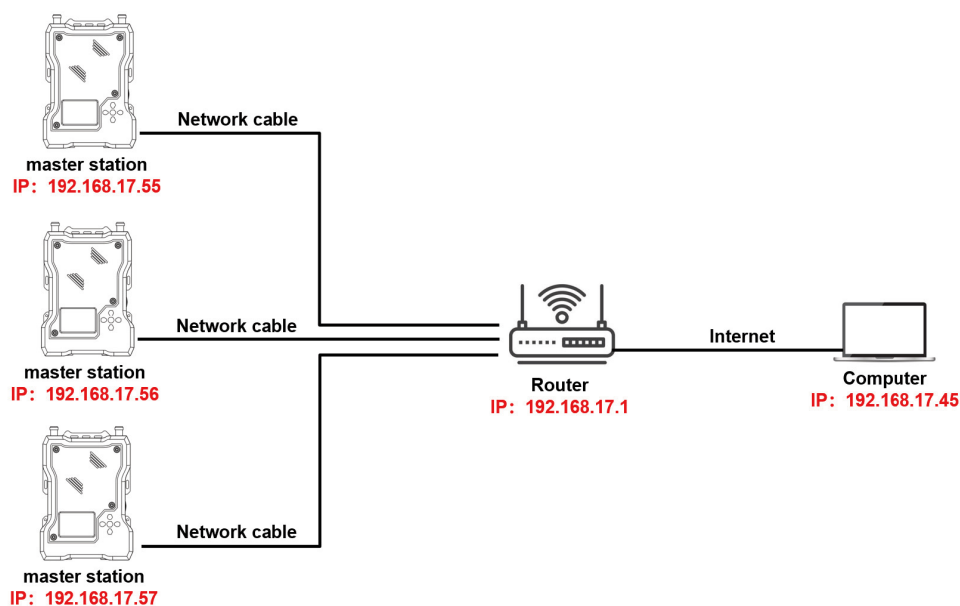
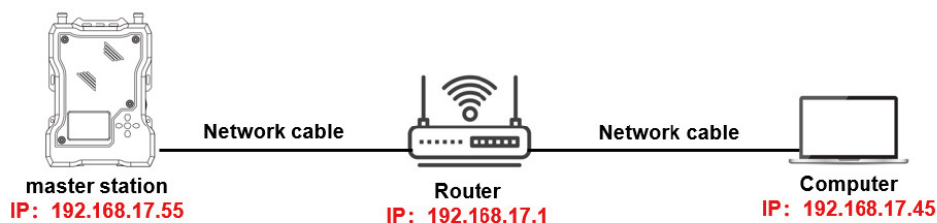
“OFF”でノイズゲートがはずれます。

## ■ DHCP 設定

**NOTE:** ベースステーションの選択キーを長押しし、メニュー画面の「Network」を選択します。



- ① Wi-Fiの初期設定はOFFになっています。ONを選択すると、SSIDとパスワードが画面に表示されます。Solidcom アプリをスマートフォンにダウンロードすることで、Wi-Fi経由でベースステーションの設定をおこなうことができます。
- ② 初期設定ではDHCPの機能はOFFになっており、すべてのIPアドレス情報は固定になっています。



## ■ ネットワーク

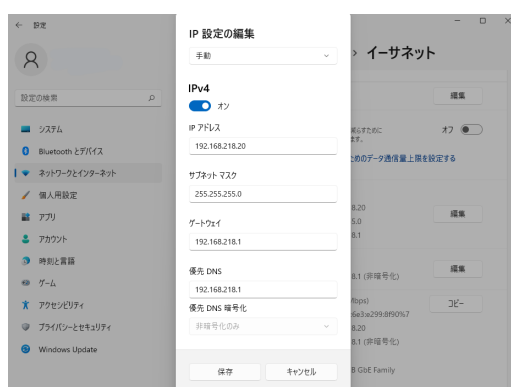
PCとM1本体をLANケーブルで接続して、ブラウザ上でM1本体の設定を変更することができます。

### ① PCとM1本体をLANケーブルで接続します。

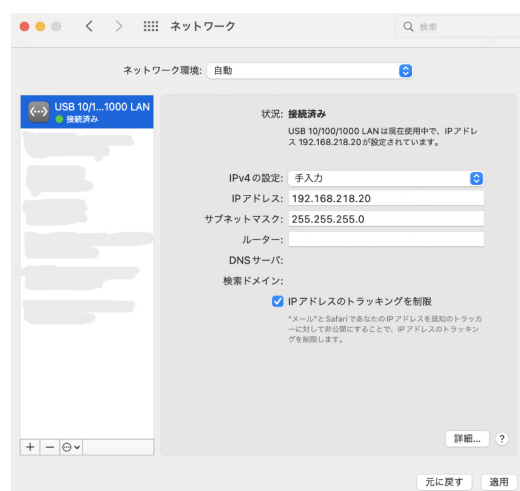


### ② IPアドレスを手動で **192.168.218.XX** に設定します。

XXはM1本体のアドレスと同じにならないよう、10や11以外の任意の数字を入力してください。

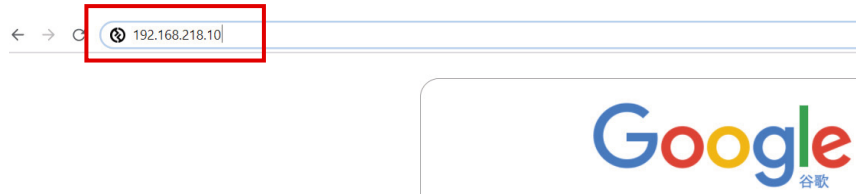


Windows設定画面

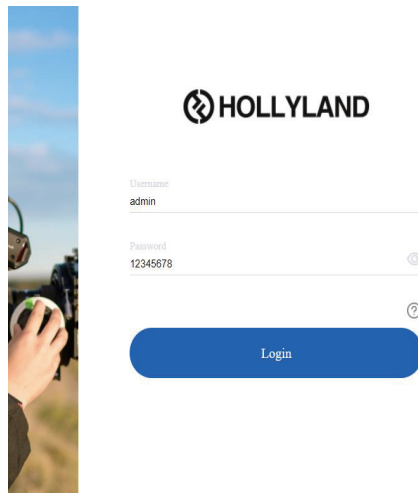


Mac設定画面

- ③ Google Chromeを立ち上げ、ベースステーション本体のIPアドレスを打ち込みます。  
ベースステーションの「Network」メニューから、本体のIPアドレスが確認できます。



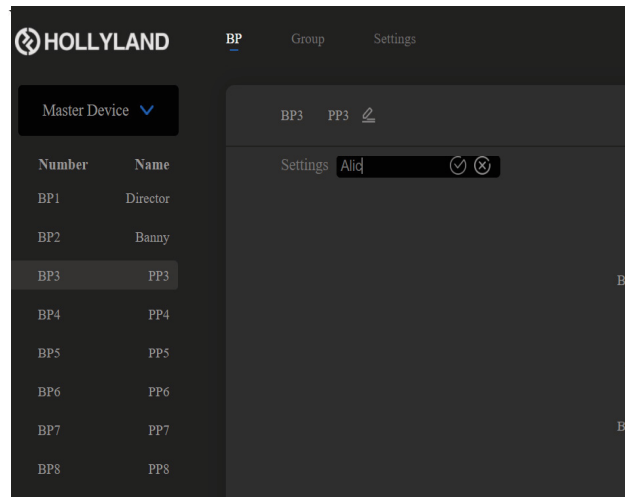
④



ユーザーネームとパスワードを以下の通り入力します。

**Username:** admin

**Password:** 12345678



ウェブ上で本体の設定を変更します。

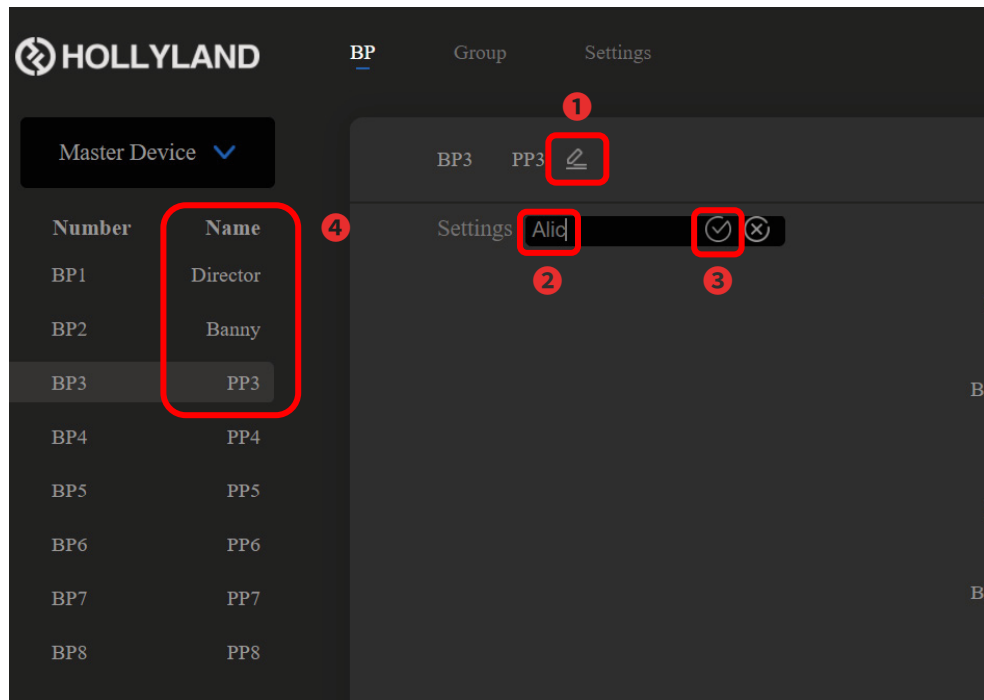


### ■ スマートフォンアプリ使用による、Wi-Fi経由でのベースステーションの設定

1. Solidcom アプリをスマートフォンにダウンロードします。
2. ベースステーションのメニュー画面から「Network」を選択し、“WiFi Setting”を On にします。
3. 「Network」のメニューから、SSID（Wi-Fi名）と Passwordを確認します。
4. スマートフォンで「HLD」から始まる Wi-Fiを探し、接続します。
5. Solidcom アプリを開いて接続します（スマートフォンの設定で、「位置情報の提供」は「許可する」に設定してください）。

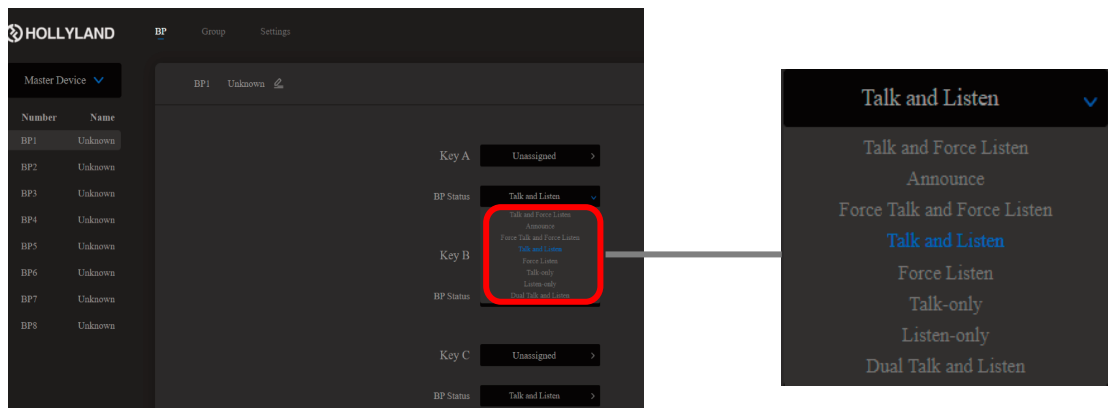
## ■ ベルトパックのネーム変更

**NOTE:** 個々のベルトパックのネームをアプリ上で、またはウェブ上で変更できます。



- ① ここを選択して、ベルトパックのネームを変更します。
- ② 8文字以内の任意のネームを入力します。
- ③ “✓”をクリックして、設定を保存します。
- ④ ネームが変更されているか確認します。

## ■ ベルトパック ワーキングモード



ベルトパックのワーキングモードを設定します。

8つのワーキングモードの詳細は、次ページ以降を参照してください。

**NOTE:** 設定したワーキングモードをリセットする場合は、ベースステーションのメニュー画面からリセットを選択します。

設定がリセットされると出荷時の設定（ベルトパックのキーボタンをダブルクリックで、グループに出たり入ったりが可能）に戻ります。

**MODE1:** Talk Only

ステータス表示

No Light: 無効

Red: **トークオンリー**  
(リッスン不可)



キーボタンをクリックでワークモード切替。  
キーボタン長押しでPTT（プッシュトーク）、リッスン不可。

**MODE2:** Listen Only

ステータス表示

No Light: 無効

Green: **リッスンオンリー**



キーボタンをクリックでワークモード切替。  
キーボタンを長押しすると、その間だけリッスンのみ（トーク不可）。

### MODE3: Talk And Listen

#### ステータス表示

No Light: 無効

Orange: トークアンドリッスン



キーボタンをクリックでワークモード切替。  
キーボタンを長押しすると、その間だけリッスンとトーク (PTT)。

### MODE4: Dual Talk And Listen

#### ステータス表示

No Light: 無効

Green: リッスンオンリー



キーボタンをクリックでワークモード切替。  
No Light の状態からキーボタン長押しでトークオンリー (Red)。  
Green の状態からキーボタン長押しでトークアンドリッスン (Orange)。

**MODE5: Force Listen**

ステータス表示

Green: リッスンオンリー



ワークモード切替不可。

**MODE6: Talk And Force Listen**

ステータス表示

Green: リッスンオンリー

Orange: トークアンドリッスン



キーボタンをクリックでワークモード切替。  
キーボタン長押しでトーク (+リッスン)。

**MODE7:** Force Talk And Force Listen

ステータス表示

Orange: トークアンドリッスン



ワークモード切替不可。

**MODE8:** Announce

ステータス表示

Green: リッスンオンリー



ワークモード切替不可。

キーボタン長押しでトーク一斉送信。

	ベースステーション	ベルトパック
外部接続	PoE 接続 (RJ45) 電源接続 (RJ45) 4Wire 接続 (RJ45) USB 接続 (USB Type-A) 2Wire 接続 (3ピンXLR-F)	3.5 mm ヘッドセットジャック LEMO ヘッドセットコネクタ USB Type-C コネクタ
電源	PoE 電源 NP-F 型バッテリー	1500 mAh リチウムポリマーバッテリー
周波数特性	200 Hz ~ 7 kHz	200 Hz ~ 7 kHz
S/N 比	> 50 dB	> 50 dB
歪率	< 1 %	< 1 %
無線到達距離	400 m (見通し直線距離)	400 m (見通し直線距離)
周波数帯域	1.9 GHz	1.9 GHz
変調方式	GFSK	GFSK
送信出力	最大 21 dBm	最大 21 dBm
受信感度	≤ -93 dBm	≤ -93 dBm
周波数帯域幅	1.728 MHz	1.728 MHz
消費電力	< 3 W	< 0.6 W
サイズ (W x H x D)	180.4 x 255.5 x 48.5 mm	65 x 105 x 22.4 mm
重量	約 1560 g	約 200 g
動作温度	0°C ~ +45°C (動作時) -20°C ~ +60°C (保管時)	0°C ~ +45°C (動作時) -20°C ~ +60°C (保管時)

## ■ 安全上の注意

暖房器具、調理器具、高圧容器（電子レンジ、電磁調理器、電気オーブン、電気ストーブ、圧力鍋、湯沸かし器、ガスコンロなど）などに付属品やベルトパックを入れないでください。

チャージャー、接続用ケーブルとバッテリーは、必ずオリジナルのものを使用してください。メーカーの認定を受けていない、または適合しないチャージャー、接続ケーブル、バッテリーを使用すると感電、火災、爆発などの危険があります。



## サポート

製品の使用中に問題が発生した場合や、サポートが必要な場合は、下記までご連絡ください。

SOLIDCOM 日本正規代理店  
(株)スタジオ イクイブメント  
〒154-0002 東京都世田谷区下馬 5-2-10  
TEL: 03-3795-3111  
<http://www.studioequipment.co.jp/>



 Hollyland Products User Group

 HollylandTech

 HollylandTech

 support@hollyland-tech.com

 www.hollyland-tech.com

**SHENZHEN HOLLYLAND TECHNOLOGY CO., LTD**

---

8F, 5D Building, Skyworth Innovation Valley, Tangtou, Shiyan, Baoan District Shenzhen, China.